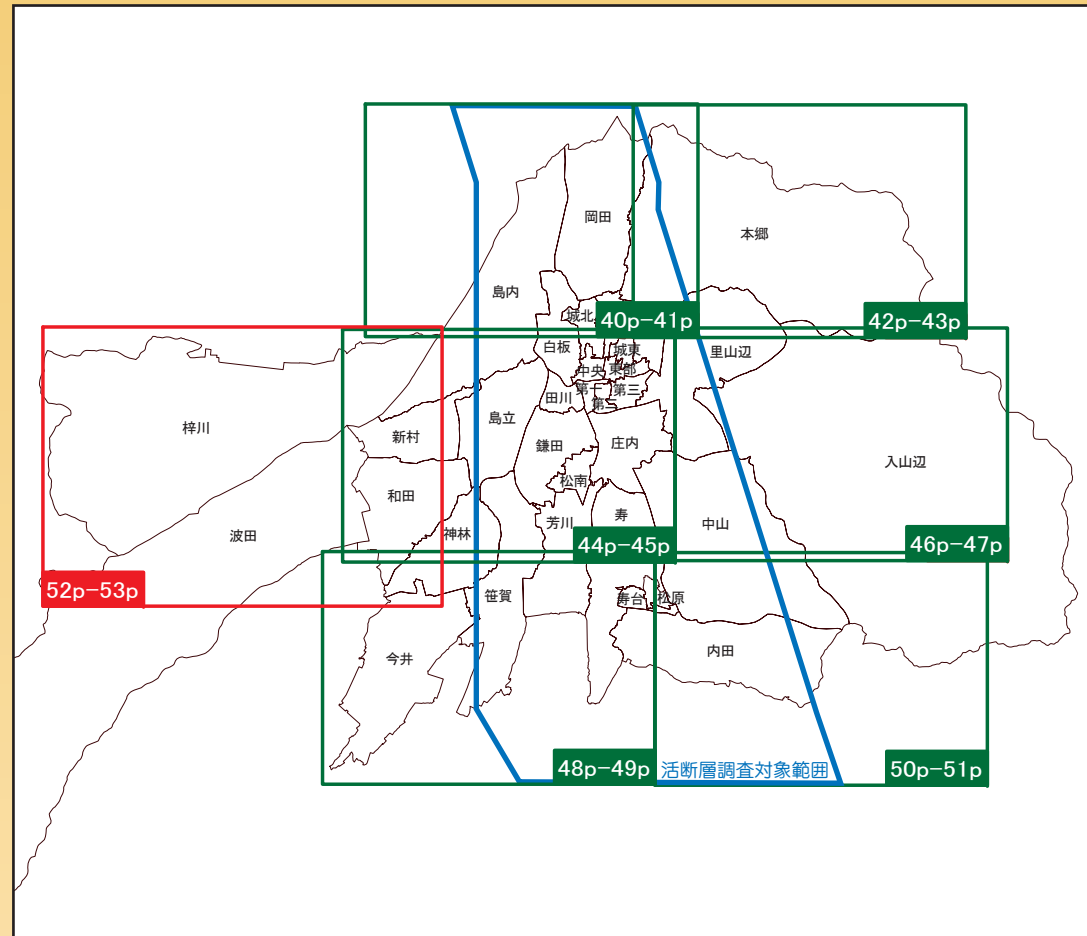


掲載している活断層について

MATUMOTO CITY 防災マップ(地震編)

索引図



参考/その他の活断層情報

活断層情報については、このマップに掲載したものの他に公開されているものがあります。主なものとしては、「都市圏活断層図」があります。

資料名	都市圏活断層図、他(次ページ参照)
著作権所有者	国土地理院
関係図面	「松本」平成10年調査・編集、平成11年7月発行 「諏訪」平成10年調査・編集、平成11年7月発行 「塩尻」平成18年調査・編集、平成19年11月発行
縮尺	1 : 25,000

書店でも購入できますが、インターネットでも公開されています。
国土地理院ホームページ内「都市圏活断層図」
URL → <http://www1.gsi.go.jp/geowww/bousai/menu.html>

防災マップに掲載した活断層の情報は、文部科学省による「糸魚川-静岡構造線断層帯における重点的な調査観測」の一環として、名古屋大学等が組織する「変動地形グループ」によって行われた「地震時断層挙動の予測精度向上に向けた変動地形調査」による最新の成果に基づいています。

活断層の位置の把握は国土地理院の都市圏活断層図等、既存の資料も参考にして、航空写真判読と現地調査によって行われたものです。調査は索引図の青枠の範囲を対象としているため、その範囲内の活断層情報のみを掲載しています。(梓川・波田地区は活断層調査対象範囲外のため、活断層の記載がありません。)

現段階で最も確からしい情報ではありますが、今後新たな調査等により、位置が修正されたり、新たな活断層が見つかる可能性は残っています。ホームページ(「糸魚川-静岡構造線」活断層情報ステーション)において、随時最新情報が公開されていますのでご確認ください。

◎「糸魚川-静岡構造線」活断層情報ステーション

URL → <http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/istl-gis/>

製作：糸魚川-静岡構造線断層帯 変動地形研究グループ(名古屋大学ほか)

【注意事項】

- ・無断複写・転載、及び個人や団体の損益に関わる参考資料としての活用を禁じます。
- ・掲載している情報は、平成21年10月現在のものであります。

【凡例の説明】

「最近十数万年間に繰り返し活動したことが変動地形学的に確実に認定される断層」を「活断層」とし、その「位置の確かさ」によって次の3種類の表現をしています。また、活断層と推定されるが、現時点では明確に特定できない、あるいは今後も活動を繰り返すか不明な断層を「推定活断層」としています。

【活断層】

表記	区分	説明
—	活断層(位置确实)	活断層のうち、断層の位置を確実に特定できるもの。
- - -	活断層(位置不确实)	活断層のうち、断層のずれによる地形の変化が河川の侵食や人工改変などを受けて変形し、断層の厳密な位置を特定できないもの。
.....	活断層(伏在部)	活断層のうち、河川の侵食などで断層のずれによる地形が消失し厳密な位置の特定はできないが、活断層の存在自体に疑いないと判断できるもの。
- - - -	推定活断層	活断層であることが推定されるが、現時点では特定できない、あるいは今後も活動を繰り返すか不明なもの。
→	撓曲変形	活断層の変位がたわみとして現れる範囲と傾斜方向を表す。

【その他の凡例】

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 医療救護所